

# 自己評価報告書（2023年度）

洗足学園小学校

## 1. 学校教育目標

- ・なにごととも自分で考えて、行動のできる子
- ・大きな夢を持ち、粘り強くがんばる子
- ・人のためになることを、すすんでできる子

## 2. 本年度に重点的に取り組む目標・計画

- ・学力の充実を図り、信頼される学習指導と進路指導をおこなう。
- ・児童の主体的活動の場（児童会や委員会活動等）をさらに拡充する。
- ・児童一人一台のタブレット端末を、すべての学習や教育活動において活用する。
- ・ICT化に伴う、新しい評価基準の検討を進める。
- ・ICTを活用した、児童の「自ら考え、調べ、発表する」という主体的学習を進める。
- ・総合的学習の一環であるたてわり活動を通じて自主性と思いやりの心を育む。
- ・図書室を改修して誕生した新施設 Base\_C の活用について研究する。
- ・職員室の改修計画を立案し、工事を実施する。
- ・次年度のホームページのリニューアルに向けた準備を進める。

## 3. 評価項目の達成および取組状況

評価項目	取組状況
教育課程・学習指導	<ul style="list-style-type: none"><li>・全教科、全学年のシラバスを用意し、保護者に配布した。</li><li>・一人一台の iPad を活用し、児童の主体的な学びを深めた。</li><li>・教員間で指導法、ICT 活用法の情報共有を進めた。</li><li>・「日記漢字」「筆算検定」「読破ノート」など本校独自の取り組みで、基礎学力の定着に努めた。</li></ul>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"><li>・進路サポートルームを放課後に開放し、児童の進路相談や自習に活用することができた。</li><li>・卒業生保護者による受験体験座談会を対面で開催し、中学受験の心得を在校生の保護者に伝えた。</li><li>・中学受験終了後、受験体験のレポートを6年生児童と保護者から提出してもらい、次年度以降への参考資料に加えた。</li></ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"><li>・マナー教育を進め、児童が自覚ある行動をとれるよう指導した。</li><li>・児童会が、自らの学校生活の問題点を考え、その解決を図った。</li><li>・臨床心理士の資格を持つ「スクールカウンセラー」を配置し、教育上配慮の必要な児童の保護者との面談、児童本人とのカウンセリングをおこなった。</li></ul>

安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練、ならびに保護者による引き取り訓練を実施した。</li> <li>・登下校の見守り活動をおこなった。</li> <li>・登下校マナーについて、周知徹底を進めた。</li> </ul>
研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に教員研修を実施し、新しい評価などについて研究した。</li> <li>・iPad の授業での活用法の研修を校内において随時おこなった。</li> <li>・11月にADS（アップル認定校）として、Open Day を対面で開催し、本校のiPad活用状況を紹介した。</li> </ul>
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校便り、学年便りを月に1回発行し、連絡事項の徹底と教育方針の周知に努めた。</li> <li>・ホームページ内の「News&amp;Topics」で各種行事の紹介や児童のコメントなどを教職員が発信した。同じくFacebookでも情報発信をおこなった。</li> <li>・6年生による学校紹介（「センゾクノトビラ」）を対面で開催した。</li> <li>・LINE公式アカウントを作成し、入試関連情報を発信した。</li> </ul>
教育環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全児童に一人一台のタブレット端末を持たせた。</li> <li>・学校から保護者への配布物や連絡でGoogle Classroomを使用する仕組みを導入した。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たてわり活動を進め、たてわり遠足、黒姫移動教室などを実施した。</li> <li>・情操教育の一環として、音楽鑑賞会をおこなった。</li> <li>・一般入試の実施方法を変更した。</li> </ul>

#### 4. 総合的な評価結果

ICTの活用に関する教員のスキルが、飛躍的に向上しており、ICTを活用した学習や教科指導について、その効果が上がっていると評価されている。また、児童も入学段階で一人一台のiPadを個人で所有し、低学年のうちからICTを使った学習に慣れ、主体的な学びができるようになってきている。新施設Base\_Cについては、外部講師を招いての教員研修をおこなうなど、さらなる活用について研究を進めている。進路指導は例年同様の取り組みをおこない、進学実績において優れた結果をだすことができた。

児童会の活動が定着し、児童の自主的な活動の幅がさらに広がった。また、たてわり活動も充実し、異学年の交流をさらに活発にした結果、児童の責任感やリーダーシップを培い、思いやりの心を育むことができた。

入学試験では、出願者一人一人の力をより詳しく見るため、2次試験を親子面接から行動観察に変更したが、混乱することなく実施することができた。